



地域支援コラム

1 対象校

A 小学校

2 対象児童

歩行の際は PCW を使用されています。運動が大好きで、活発に走っている様子がみられました。体幹はしっかりしていますが、不随意運動があります。右優位で、歩行時に左足が内旋しています。

3 支援内容

学習指導(体育)

① 筋力、体力をつけるにはどうしたらよいか。

日常生活の中で、しっかりと身体を動かす時間を確保することが大事になってきます。現状、児童自身が身体を動かすことを好ましく思っているので、授業、休み時間、係活動のなかで十分に運動量が確保できています。現在の取り組みを続けることで自然と体力がついていくと伝えました。また、体育の授業では、ストレッチや筋力トレーニング(仰向け姿勢になり、足上げ、尻上げをするなど)を体操と合わせて取り組んではどうかと提案しました。

② 体育での指導や補助の仕方をどうすればよいか。

当該児童は、一斉授業の中で、みんなと活動を共にしたいという思いが強いとのことでした。そのため、一斉授業の形態の中でも、個々の課題に取り組める内容を薦めました。

例) ・玉入れゲーム

様々な高さの籠を用意し、それぞれの籠にはランダムに点数を設定して隠しておく。ゲーム終了後、各籠の点数を公開し、点数を集計する。

→このようなルールにすることで、高い位置の籠＝高得点ではなくなり、それ

ぞれの児童が、チャレンジしたい籠やたくさん入れられる籠を選択し、取り

組むことができます。(個々の課題に取り組むことができます。)

③ 手指の操作性について

手先での細かな作業に課題があるため、筒状の入れ物の中から小さいものを一つずつ取り出すような活動を取り入れられてはどうかと伝えました。指を3本使う活動のため、運筆力の向上が期待できます。